

<p>【イベント名】 第44回 APAN 会議 PUMCH (第24回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス)</p>	<p>【概要】 2時間に及ぶ遠隔会議において、7施設の医師より早期胃がん5症例が提示され、内視鏡所見、病理所見、治療の観点から議論が行われた。議論の過程は第44回APAN会議の開催地である大連へリアルタイムで送られた。送信システムのアップデートにより音声・映像ともに滞りなくコミュニケーションなされた。天津医科大学のシステムがまだ最新のものでないため、今後技術的な解決策を探る必要がある。</p>
<p>【期日】 2017.08.30</p>	
<p>【会場】 大連国際金融会議センター（中国）、北京協和医院（中国）、復旦大学中山病院（中国）、天津医科大学（中国）、南方医科大学 南方医院（中国）、順天堂大学（日本）、福岡大学筑紫病院（日本）、九州大学病院（日本）</p>	



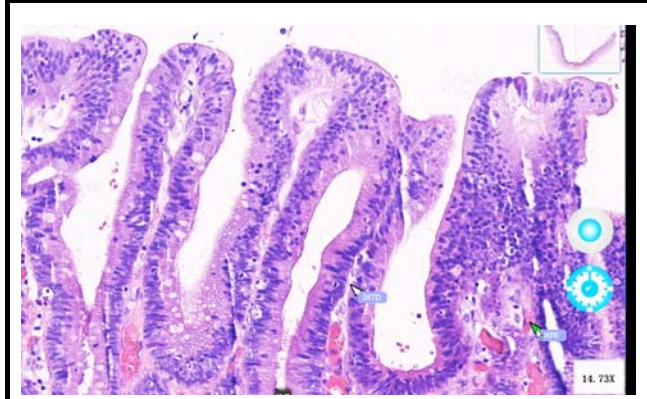
北京協和医院の会場の様子。

撮影場所：北京協和医院



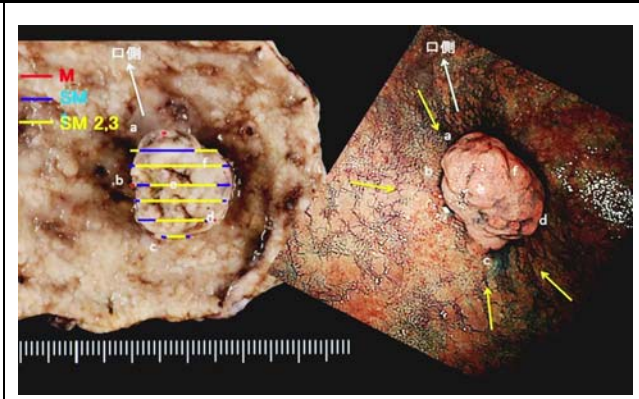
モニタに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



テレポインターを使用した病理画像のディスカッション。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



南方医科大学 南方医院の会場の様子。

撮影場所：南方医科大学 南方医院



九州大学病院での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院